

平成 28 年 10 月度：「ゴミ焼却量」「プラ混入率」「CO₂排出量」

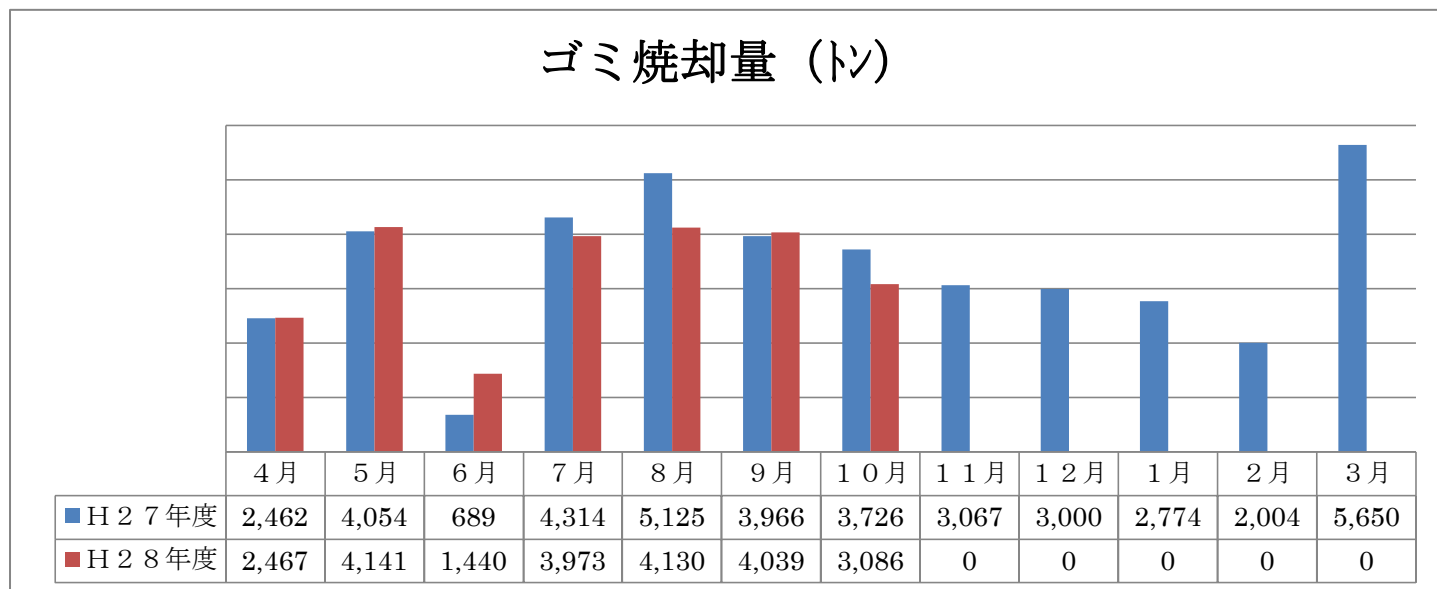
2016-12-11

温暖化防止ながれやま

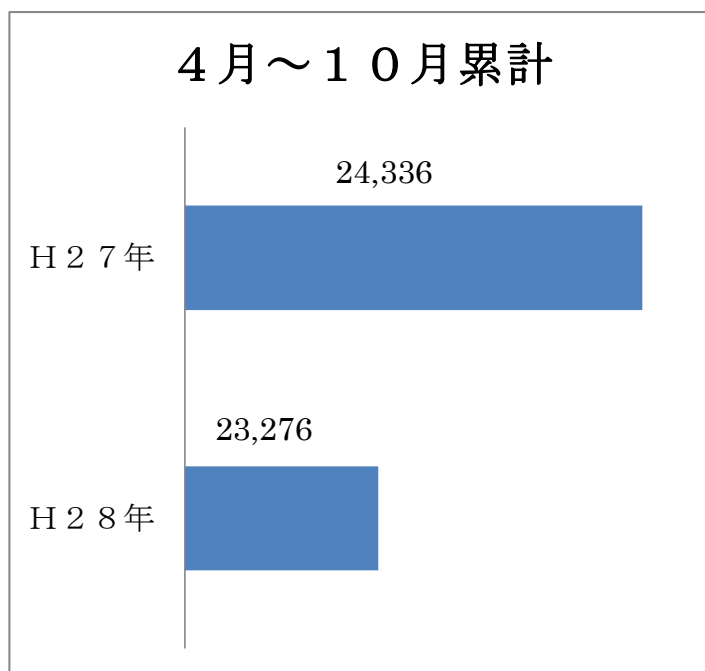
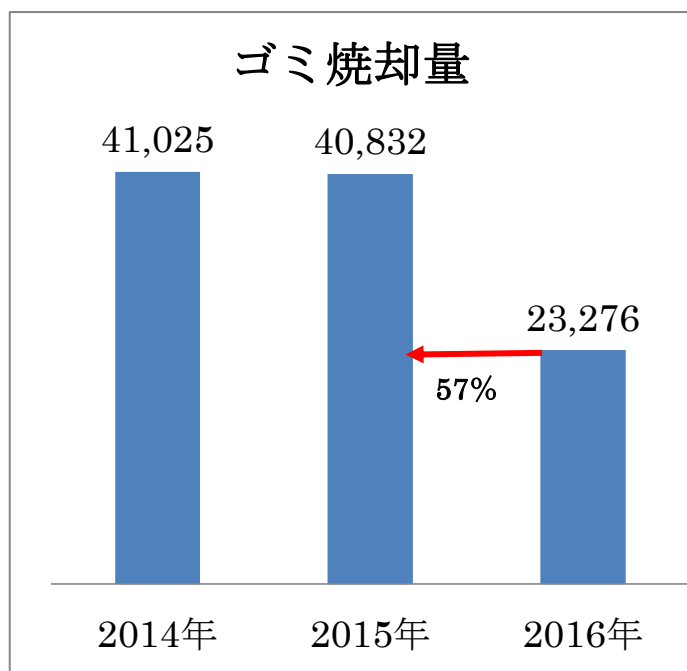
可燃ごみ減量P J

春田育男

1、ゴミ焼却量



* 10月のゴミ焼却量は前年に対して減量しているが、プラスチックの混入率が高い。(次ページ)

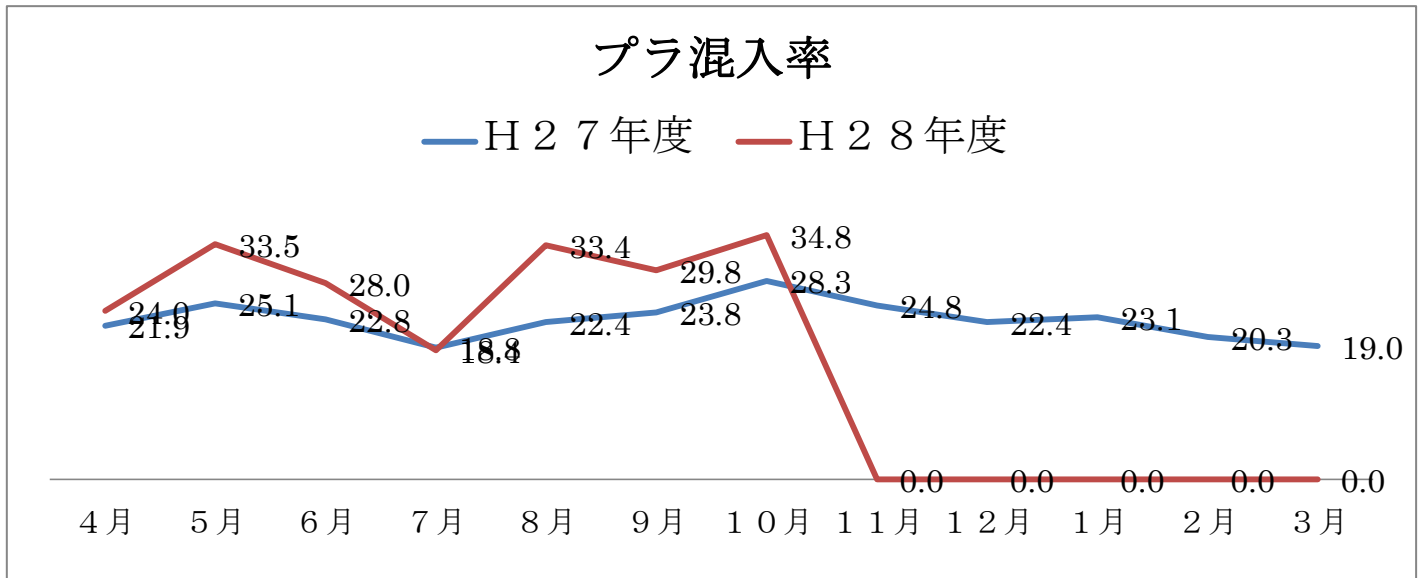


* 2016 年は、4月～10月までのゴミ焼却量の累計です。(前年度の57%)

* 10月迄のゴミ焼却量累計 (23,276 t) は、前年 (24,336 t) の約4%減となっている。
今後の焼却量を注視したい。

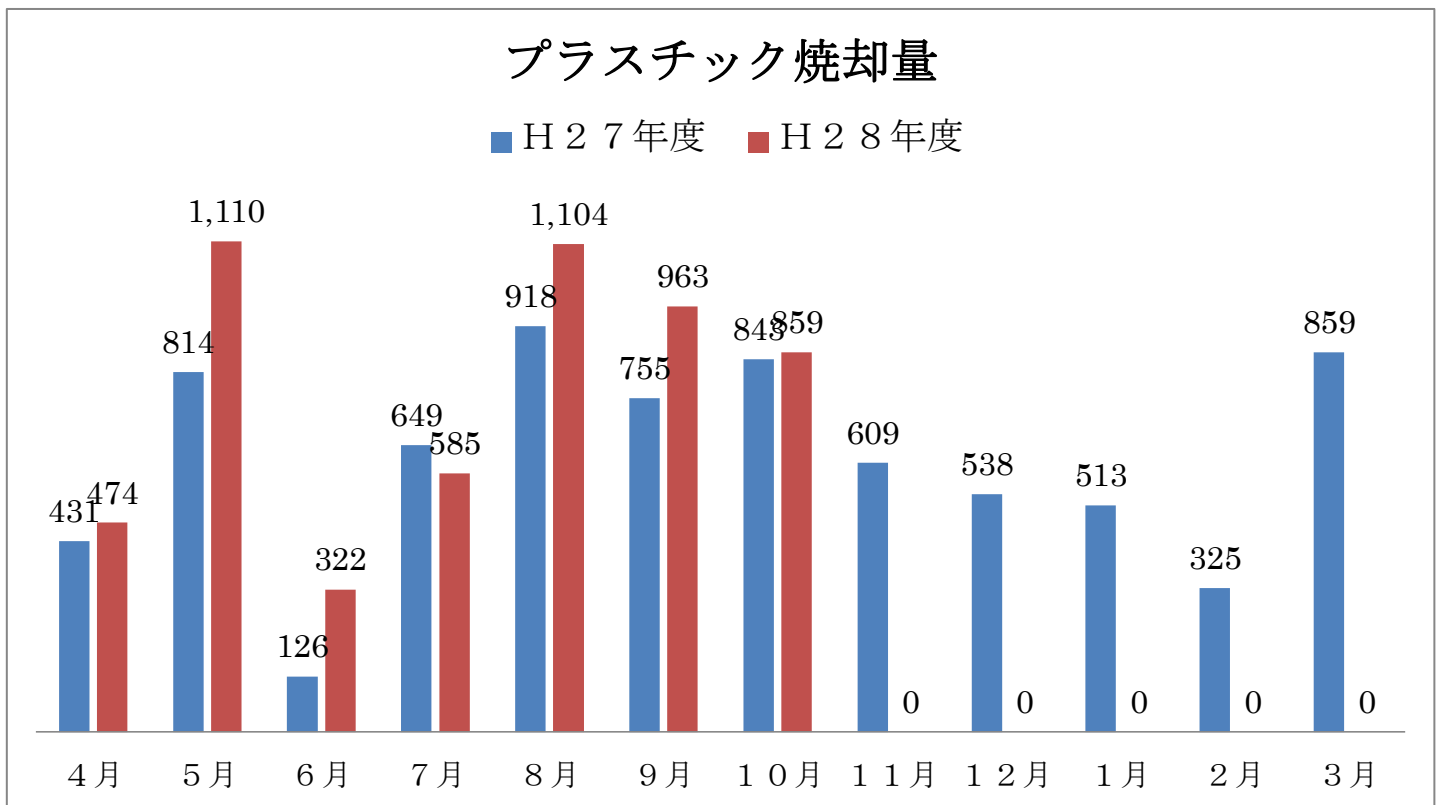
* 3月度のピークカット策を検討する必要がある。(なぜ3月度は多いのか?)

2、プラ混入率



*前月 (29.8%) に対し10月 (34.8%) は増加している。 前年10月 (28.3%) より多い。
 プラ混入率は20%を目標としたい。 (注：11月以降は未定)

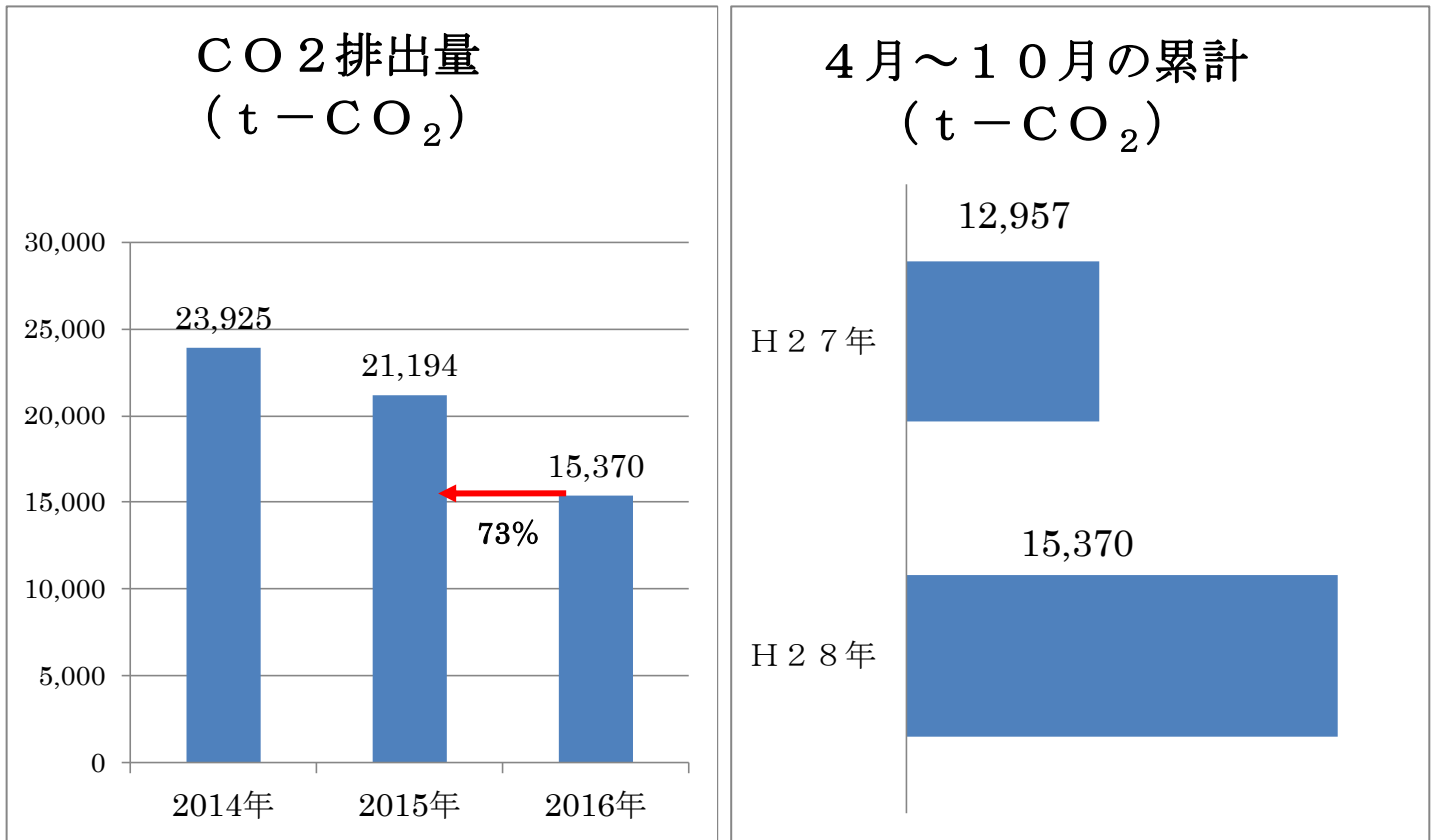
3、プラスチック焼却量



プラスチック焼却量 = ゴミ焼却量 × プラ混入率 × プラ水分含有率 (80%)

*プラスチックの焼却量が増加傾向にある。(プラ混入率の増加による)

4、CO₂排出量 (t-CO₂)



*2016年は、4月～10月のCO₂排出量である。(前年の73%)

*7ヶ月の累計(15,370 t)は、昨年(12,957 t)に対して19%増となっている。

このまま推移すると昨年よりCO₂排出量は大幅に増加する。

*プラ混入率を低減するか、更なるゴミ焼却量を減量する必要がある。

(注) 流山市クリーンセンター全体からのCO₂排出量は、
上記数量に下記を加えた値となる。

- ・購入電力量に伴うCO₂排出量
- ・燃料(灯油、LPG、軽油など)使用に伴うCO₂排出量